

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
1 医療学概論	病院、企業、公的機関等での経験を踏まえ、医療に関連した各種職業分野と社会活動等について講義する。	北里 英郎	檀原 宏文 ※ 黛 まどか ※ 北里 耕亮 ※ 北里 一郎 ※ 森 孝之 ※ 五十嵐真希 ※ 丸山 弘子 ※ 吉田 一成 ※ 洪 賢秀 ※ 柴 喜崇 ※ 渋谷 明隆 ※ 油谷 和子 ※ 石田 浩之 ※ 田ヶ谷浩邦 ※ 東條美奈子 ※	1	前期	2 単位	必修
2 リハビリテーション概論	病院での臨床経験を踏まえ、リハビリテーションに関する基礎的知識を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 半田 知也 ※ 東條美奈子 ※ 坂本 美喜 ※ 幅田 智也 ※ 原 由紀 ※ 榊原 七重 ※	1	後期	1 単位	必修
3 言語発達学	小児の臨床経験を踏まえ、典型的な言語発達を、ことばの遅れとも関連づけながら教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 原 由紀 ※	1	後期	1 単位	必修
4 社会系医療学	病院等での経験を踏まえ、社会福祉に関する概要や制度、ソーシャルワークの実際を講義する。	渡邊 誠	柴 喜崇 ※ 左右田 哲 ※ 中村 球恵 ※ 亀澤 有子 ※ 中村 奈奈 ※ 坪井 ゆり ※ 市川 賀一 ※ 提中 拓 ※	1	前期	1 単位	必修
5 言語聴覚療法学概論(実習含)	多様な臨床経験をもつ担当者が、それを踏まえ各領域について実践的な観点から概説する。	村上 健	村上 健 ※ 石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 佐野 肇 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※ 関 初穂 ※ 猪川 尚子 ※ 渡邊 操 ※	1	通年	3 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
6 チーム医療論(演習含)	病院での臨床経験を踏まえ、実践的なチーム医療の意義や必要性、チーム医療におけるコミュニケーションの重要性や必要性について概説する。	伊藤 智夫	伊藤 智夫 ※ 岩村 正嗣 ※ 宮岡 等 ※ 渡邊 昌彦 ※ 坂東 由紀 ※ 厚田 幸一郎 ※ 有田 悦子 ※ 吉田 一成 ※ 渋谷 明隆 ※ 伊勢田 明子 ※ 齋藤 有紀子 ※ 田ヶ谷 浩邦 ※ 松永 篤彦 ※ 五味 勉 ※ 油谷 和子 ※ 渡邊 達也 ※	1	後期	1 単位	必修
7 生理学Ⅱ	研究所での研究経験を踏まえ、生理学分野の研究成果が人体の仕組みの解明にどのように貢献しているか概説する。	石橋 仁	石橋 仁 ※ 濱田 幸恵 ※	2	前期	2 単位	必修
8 病理学	大学での医療技術者としての経験を踏まえ、医療における病理学の意義及び実際の病理診断がどのように展開されるのかを概説する。	土屋 紅緒	土屋 紅緒 ※	2	前期	2 単位	必修
9 臨床医療学Ⅰ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	片桐 真人 ※ 福田 倫也 ※ 堀口 利之 ※ 石川 均 ※ 堀江 良一 ※ 東條美奈子 ※ 横場 正典 ※ THET THET LWIN ※ 隈部 俊宏 ※ 小林 清典 ※ 隈元 雄介 ※ 佐藤 武郎 ※ 劔持 学 ※ 熊澤 憲一 ※ 近藤 関子 ※ 柴山 啓子 ※ 小泉 寛之 ※ 石戸 謙次 ※ 東野 俊洋 ※ 高山 陽子 ※ 佐々木治一郎 ※ 服部 潤 ※ 酒井 健史 ※ 長谷川力也 ※ 土岐 卓也 ※	2	通年	4 単位	必修
10 臨床医療学Ⅲ	病院での実務経験を踏まえ、臨床医学の各分野について、その分野の専門教員により教授する。	東條美奈子	田ヶ谷 浩邦 ※ 福田 倫也 ※ 安藝 良一 ※	2	後期	1 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
11 耳鼻咽喉科学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、耳鼻咽喉科学の代表的疾患や病態等を教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 堀口 利之 ※	2	前期	1 単位	必修
12 形成外科学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、形成外科・美容外科学の基礎知識について教授する。	鈴木 恵子	武田 啓 ※ 根本 充 ※ 柏木 慎也 ※ 杉本 孝之 ※ 石川 心介 ※ 森山 和の ※ 杉本 佳香 ※ 君塚 幸子 ※	2	後期	1 単位	必修
13 歯科・口腔外科学	言語聴覚士と協働する歯科医師および歯科衛生士としての臨床経験を踏まえ、言語聴覚療法に必要な歯科・口腔疾患や疾患による言語障害の病態・治療法の現況について教授する。	原 由紀	窪田 千晶 ※ 木村 友美 ※ 佐藤みさを ※ 佐野あゆみ ※ 二宮 卓大 ※	2	後期	1 単位	必修
14 音声言語医学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、音声言語障害の医学的側面等について教授する。	堀口 利之	堀口 利之 ※	2	後期	1 単位	必修
15 聴覚医学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、聴覚器官および平衡器官の検査法、症候、疾患、治療法について教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 落合 敦 ※	2	後期	1 単位	必修
16 高次脳機能学	病院での臨床経験を踏まえ、臨床における高次脳機能障害の病態、介入方法を教授する。	福田 倫也	福田 倫也 ※	2	後期	1 単位	必修
17 臨床心理学Ⅰ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、精神障害の特徴およびその支援について概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
18 臨床心理学Ⅱ	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、心理療法及び心理検査の特徴を概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	2	後期	2 単位	必修
19 発達心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、発達の正常および異常について講義を行う。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	2	前期	2 単位	必修
20 聴覚心理学	言語聴覚士と協働する医師としての臨床経験を踏まえ、聴覚心理学の基本事項及び聴覚機能検査の基本原則を教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※	2	前期	1 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
21 音響学 (実習含)	病院での臨床経験及び企業研究所での研究実務を踏まえ、音響学理論を教授した上で、言語聴覚士の臨床的観点を踏まえた実践的な実習を行う。	鈴木 恵子	持田 岳美 ※ 鈴木 恵子 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※	2	前期	2 単位	必修
22 薬理学	研究所での研究経験を踏まえ、薬物の作用機序や薬物の作用点としての生体の構造とその機能を理解する上で、薬理学領域の研究がどのように役立っているか概説する。	小島 史章	小島 史章 ※	2	前期	2 単位	選択
23 医療統計学	病院での臨床経験を踏まえ、医療における統計学の重要性及び実際の統計を使用したデータ処理がどのように展開されるのかを概説する。	稲岡 秀検	稲岡 秀検 ※ 守田 憲崇 ※	2	後期	2 単位	選択
24 基礎言語聴覚療法学 (実習含)	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から教授する。	秦 若菜	石坂 郁代 ※ 佐野 肇 ※ 堀口 利之 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 見学担当者 ※	2	後期	1 単位	必修
25 構音障害学 I (実習含)	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、構音障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	鈴木 恵子	堀口 利之 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※	2	通年	3 単位	必修
26 聴覚検査学	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、各種の聴覚機能検査の方法とその診断学的意義について教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※	2	通年	1 単位	必修
27 聴覚検査学実習	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、実習を通して各種の聴覚機能検査法について実践的に指導する。	村上 健	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※	2	通年	1 単位	必修
28 リハビリテーション医学	病院での臨床経験を踏まえ、各専門職種の視点から、リハビリテーション医学に必要な知識について教授する。	東條美奈子	東條美奈子 ※ 片桐 真人 ※ 堀口 利之 ※ 高平 尚伸 ※ 福田 倫也 ※ 佐野 肇 ※ 半田 知也 ※ 榊原 七重 ※ 中澤 祐則 ※ 頼住 孝二 ※ 宮城 正行 ※	3	前期	2 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
29 失語・高次脳機能障害学	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、高次脳機能障害の概要、失語症の分類・症状、鑑別診断の方法等について教授する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※	3	前期	3 単位	必修
30 失語・高次脳機能障害学実習	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、失語症とその他の高次脳機能障害の病態に関する知識及び評価・訓練プログラムの立案・訓練実施のための理論と実技を指導する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※ 石坂 郁代 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 関 初穂 ※ 波多野和夫 ※ 見学担当者 ※	3	通年	3 単位	必修
31 言語発達障害学	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、言語発達障害児のコミュニケーションおよび言語の症状、障害の発生機序等を教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 金生由紀子 ※ 武井 研二 ※	3	前期	3 単位	必修
32 言語発達障害学実習	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、言語発達障害児に対する臨床場面での一連のプロセス、具体的な指導プログラムを実習を通して指導する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 榊原 七重 ※ 水戸 陽子 ※	3	通年	3 単位	必修
33 重複障害学	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、重複障害児の運動機能の障害と言語およびコミュニケーション障害等について教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 横山美佐子 ※ 小沢 浩 ※	3	後期	1 単位	必修
34 構音障害学Ⅱ（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、運動障害性構音障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	東川 麻里	東川 麻里 ※ 堀口 利之 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 清水 忍 ※	3	通年	2 単位	必修
35 音声障害学（実習含）	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、音声障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	堀口 利之	堀口 利之 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 太田 時夫 ※	3	前期	2 単位	必修
36 嚥下障害学（実習含）	多職種にわたる臨床経験を踏まえ、嚥下障害の病態および臨床現場での態度等を教授する。	村上 健	村上 健 ※ 堀口 利之 ※ 高橋香代子 ※ 東川 麻里 ※ 秦 若菜 ※ 佐野あゆみ ※ 木村 友美 ※ 佐藤みさを ※ 清家由美子 ※	3	後期	2 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
37 吃音学 (実習含)	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、吃音に関する知識と評価、リハビリテーションに必要な基本的技術を教授する。	原 由紀	原 由紀 ※ 安田 菜穂 ※ 吉澤健太郎 ※	3	前期	2 単位	必修
38 小児聴覚障害学 (実習含)	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、小児聴覚障害児の評価・リハビリテーションに必要な基本的知識・技術を教授する。	原 由紀	原 由紀 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 石坂 郁代 ※	3	通年	2 単位	必修
39 成人聴覚障害学 (実習含)	言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、成人聴覚障害に関する知識と技術を実践的に教授する。	鈴木 恵子	鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 今井 節子 ※	3	前期	1 単位	必修
40 補聴器・人工内耳 (実習含)	医師、言語聴覚士としての臨床経験を踏まえ、補聴機器および人工内耳の基礎的な知識と技術を実践的に教授する。	佐野 肇	佐野 肇 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※	3	前期	2 単位	必修
41 臨床実習 I	言語聴覚士、臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、担当者が領域を分担し、実践的な実習指導を行う。	東川 麻里	石坂 郁代 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※ 深瀬 裕子 ※ 各実習先担当者 ※	3	後期	1 単位	必修
42 臨床言語聴覚療法学実習	言語聴覚士としての多様な臨床経験を踏まえ、担当者が領域を分担し実践的な実習指導を行う。	鈴木 恵子	鈴木 恵子 ※ 石坂 郁代 ※ 東川 麻里 ※ 原 由紀 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※	3	後期	2 単位	必修
43 言語聴覚療法学総合演習	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から教授する。	石坂 郁代	石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 村上 健 ※ 秦 若菜 ※ 水戸 陽子 ※ 鈴木 牧彦 ※ 田口 明子 ※ 片桐 裕史 ※	4	通年	3 単位	必修

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
44 臨床実習Ⅱ	医師、言語聴覚士としての多様な臨床経験を踏まえ、各担当者が領域を分担し実践的な実習指導を行う。	原 由紀	堀口 利之 ※ 石野 肇 ※ 東川 郁代 ※ 鈴木 麻里 ※ 原 恵子 ※ 秦 由紀 ※ 村上 若菜 ※ 水戸 健 ※ 陽子 ※	4	通年	12 単位	必修
45 卒業研究	病院での臨床経験を踏まえ、担当者ごとに各専門領域について実践的な観点から研究指導する。	鈴木 恵子	石坂 郁代 ※ 堀口 利之 ※ 佐野 肇 ※ 東川 麻里 ※ 鈴木 恵子 ※ 原 由紀 ※ 秦 若菜 ※ 村上 健 ※ 水戸 陽子 ※ 研究委員	4	通年	4 単位	必修
46 分子血栓止血学	病院での臨床経験を踏まえ、先天的、後天的出血性疾患についての臨床的意義について講義し、また実際の血液補充療法や薬物療法がどのように展開されているのかを概説する。	松尾 純孝	松尾 純孝 ※	全	前期	2 単位	自由
47 臨床検査学概論	臨床検査技師・細胞検査士・医師として病院、検査センター、健診センター、研究所、企業での経験を踏まえ、各分野での臨床検査の意義、様々な医療現場において活躍する臨床検査技師の役割及び臨床検査技師・細胞検査士の実際の業務について概説する。	佐藤 隆司	佐藤 隆司 ※ 横場 正典 ※ 西村由香里 ※ 長塩 亮 ※ 太田 悦朗 ※ 中村 正樹 ※ 黒崎 祥史 ※	全	後期	1 単位	自由
48 ボランティア社会学	医療機関での臨床業務や研究所・企業での研究経験を踏まえ、医療知識が災害や国内外のボランティア活動にどのように活かされているかを概説する。	丸山 弘子	丸山 弘子 ※ 菅野 信弘 ※ 上澤 悦子 ※ 長沢 光章 ※ 谷ヶ城良太 ※ 正木 朋也 ※ 河村 晃依 ※ 江川 美奈 ※ 佐藤 春彦 ※ 柴 喜崇 ※ 渡邊 裕之 ※ 大室 和也 ※ 医療衛生学部QQクラブ	全	後期	2 単位	自由
49 神経・生理心理学	研究所、臨床（医師）での実務経験を踏まえ、神経活動、神経伝達、神経系構造と役割について解説する。	田ヶ谷浩邦	田ヶ谷浩邦 ※	全	後期	2 単位	自由

## 実務経験のある教員による授業科目一覧表

〔部門：医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻〕

科目名	実務経験の授業への活用方法	科目責任者	科目担当者 (※は実務経験有)	開講 学年	通年 前期 後期	単位数	必修・ 選択等
50 社会・集団・家族心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、社会・集団における対人・自己認知や家族機能の正常および病的なメカニズムを概説する。	市倉加奈子	市倉加奈子 ※	全	前期	2 単位	自由
51 感情・人格心理学	臨床心理士としての臨床経験を踏まえ、感情・人格の正常および病的なメカニズムを概説する。	深瀬 裕子	深瀬 裕子 ※	全	後期	2 単位	自由
52 医療に利用される最新科学	病院での臨床経験を踏まえ、医学における研究トピックス及び最近の動向を概説する。	原 秀剛	原 秀剛 ※	全	後期	1 単位	自由
53 生体信号計測概論	企業での機器開発経験を踏まえ、生体信号計測機器の利用と開発に必要な基礎知識について概説する。	小菅 智裕	小菅 智裕 ※	全	前期	1 単位	自由
合計						106 単位	